

会議録

審議会等名	令和3年度第4回つくばみらい市国民健康保険運営協議会
開催日	令和3年11月18日(木)
開催場所	つくばみらい市役所 伊奈庁舎3階 大会議室
出席者	出席委員 染谷 礼子、中山 栄一、守谷 智明、鈴木 美和子、 青木 一郎、横張 雅彦、飯塚 伸泰、小菅 新一 欠席委員 岡本 善隆 事務局 須加尾保健福祉部長、明都国保年金課長、嶋田課長補佐、 飯泉主査、沼尻主査、鈴木係長
議案	会議録署名委員の指名 報告事項 ・令和4年度国民健康保険事業費納付金の仮算定結果等について ・国民健康保険税の子どもに係る均等割の軽減措置について ・茨城県国保特別交付金(20歳未満の被保険者数に応じた交付)の活用について
議案概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会 午後1時30分 明都課長</li> <li>・会長あいさつ 染谷会長</li> <li>・会議録署名委員の指名 小菅委員、飯塚委員</li> <li>・報告事項 (1) 令和4年度国民健康保険事業費納付金の仮算定結果等について、事務局より説明した。</li> </ul> <p>&lt;質疑等&gt;</p> <p>守谷委員 賦課方式の変更については、簡潔及び公平ということがあり、県での統一事項である2方式を支援する。当初は、賦課方式の変更に対する税率等の変更が議題だったが、今回、納付金の増額が県から示されたため、それに対する税率等の変更も考慮しなければいけないと考える。次回の資料に関して、まず、平等割の廃止の影響で軽減される部分、次に、納付金があがって増加させる部分がわかるような形でお願いしたい。</p> <p>事務局 次回の12月の運営協議会には、なるべく2段に分けて、わかりやすい資料にしたいと考えている。</p>

	<p>中山委員 現在、基金は約7億円あるが、基金としてどれくらいの額を置くことがいいのか。いろいろな事が出てくると思うので、多ければ多いほどいいという考えがあるかも知れないが、どのくらいの金額を考えているのか。</p> <p>事務局 基金の保有額が、どれが適正なのかというのは、なかなか難しいところである。今後、不測の事態が起こった時、基金を活用することになると考える。また、県の納付金が今回のように増額していき、毎回基金を活用した場合、何年持つのかという話にもなって来る。今回はまだ、激変緩和措置があるので、この金額で済んでいるが、激変緩和措置が過ぎると、納付金が上がってくる。そういった時にも、やはりもう一度保険料の見直しが必要になってくるが、その際に、なるべく値上がり幅が緩やかになるような段階で、基金を活用したいと考えている。今の額はほぼいいのではないかと考えている。</p> <p>(2) 国民健康保険税の子どもに係る均等割の軽減措置及び(3) 茨城県国保特別交付金(20歳未満の被保険者数に応じた交付)の活用について事務局より説明した。</p> <p>&lt;質疑等&gt;</p> <p>守谷委員 事務局の考えとして、未就学児の均等割の軽減措置と同様に、子どもの均等割軽減も20歳未満ということであるが、県の方も20歳未満と示しており、子どもの均等割軽減に活用というところで、20歳未満5割軽減というので、個人的には一番いいやり方ではないかと考えている。質問であるが、今回の5割軽減というのは、あくまでも軽減であり、減免、免除とかは考えていないということではよろしいか。</p> <p>事務局 減免ではなく、軽減ということで考えている。</p> <p>(4) その他で、今後のスケジュールについて、事務局から説明した。</p> <p>&lt;質疑等&gt;</p> <p>横張委員 次回で最終決定するということがよろしいか。</p>
--	---

	事務局      その予定である。  ・ 次回は、12月16日午後1時30分に開催予定 ・ 閉会   午後2時10分   明都課長
そ の 他	傍聴人   1人

以上、上記議事を明確にするため、この会議録を作成し、会長及び会議録署名委員が次に署名捺印する。

会            長

会議録署名委員

会議録署名委員